

2016年12月クラブラン 鶴見川源流を訪ねるラン

基本データ

実施日	2016年12月18日(日)
クラブラン名称	鶴見川源流を訪ねるラン
行程	淵野辺駅出発 →麻布大 →町田メモリアルパーク →鶴見川源流の泉 →都道155号線 →都道57号線(芝溝街道) →自由民権資料館 →サイゼリヤ(昼食) →鶴川駅 →鶴見川サイクルロード →青葉スポーツセンター(休憩) →川和車両基地(グリーンライン) →第3京浜港北JCT工事現場(亀の甲橋近辺) →亀の甲橋(右岸へ) →日産スタジアム →鶴見橋(川から離れる) →潮鶴橋 →鶴見線車両基地 →河口(ふれーゆ隣り) →鶴見駅 (約53km)
GPS ログ	http://latlonglab.yahoo.co.jp/route/watch?id=9500b048804bda061c04151f4ebcbce
集合場所	JR 横浜線 淵野辺駅 10:00 集合、10:30 出発
担当	F 本
レポート	W 田
参加者	F 本、W 邊、I 浦、Y 部、T 崎、O 湖、W 田 7名
天候	晴れ

レポート本文

淵野辺 9:50 着の列車を降りて集合場所の北口ローソン横に着くと、F 本さん、W 渡邊さん、I 浦さん、Y 部さんの4名が集合していた。ほどなくT 崎さん、少し遅れてO 湖さんが到着して、軽いブリーフィングを済ませて、出発。先頭はF 本さん、最後尾は W 邊さん。

駅をあとにして、麻布大キャンパス横を通り過ぎて境川に出る。名前の通り境川を超えると東京都。町田メモリアルパークのちょっと手前の尾根緑道まで登り、小山田バス停まで下って鶴見川に出て、700m ほど川を遡って源流の泉に到着。

源流の泉は直径7m、水深50cm程度の丸い池で、底から水が湧いている。日量1300トンとのこと。この泉のほかにさらに上流から流れてくる小川もあり、その流れと泉からの流れが合わさって鶴見川の源流となっている。



10分ほど滞在したのち川を下り始めた。川に平行に走る都道155号線を図師方面に向かう。途中、尾根幹線道路に向かうと思われるサイクリストと多くすれ違った。鶴見川⇒尾根幹線道路⇒多摩川と走っていくのだろう。図師大橋交差点で都道57号に出た。ここで川の向きが南東から東に変わる。

鎌倉街道(都道18号)との交差点を通過し、自由民権資料館に到着。ここは町田市立の資料館で、町田市を中心に武相地域(当時の神奈川県で、現在の多摩地区と神奈川県に相当)の自由民権運動について紹介している。30分ほど見学したのち資料館から200mほど東のサイゼリヤに移動し、そこで昼食をとった。

昼食の後、午後から予定のあるY野さんが離脱。鶴川駅手前で都道57号と別れて、小田急線の線路を渡り、鶴見川サイクリングロードに出る。都道57号は交通量が多く、気を使いながら走っていたので、ほっとする。しばらく川を眺めて休憩していたところ、サイクリングロードに面した民家の庭にソーラパネルでからくり人形のようなおもちゃを発見。しばし楽しませてもらう。



ここからはしばらく左岸を黙々と走行。信号がないので快適で走れるが、真光寺川、麻生川、真福寺川の合流地点ではサイクリングロードが折れ曲がっているため、ここだけはちょっと煩わしい。30分ちょっとで青葉スポーツセンターに到着。T崎さんとはここで別れ。残ったメンバーここで休憩。この日は併設の青葉公会堂で人形劇「美女と野獣」の公演があり賑わっていた。

10分ほどの休憩の後出発。サイクリングロードを黙々と走る。この時期は日没が早く、のんびりしてられない。国道246号、田園都市線、東名高速、地下鉄グリーンライン、グリーンラインの車両基地

を通過する。恩田川の合流地点を過ぎ、第3京浜をくぐったところで、横羽線の生麦JCTと第3京浜の港北インターを結ぶ工事現場に出た。亀甲橋で鶴見川を渡り、右岸に出る。この辺りの道路は高架状になっており、地上は調整池を兼ねた運動場になっている。私の記憶が正しければ、5年に1回程度この調整池の出番がある。

橋を渡ったところは日産スタジアムで、この日は賑わっていた。サッカーに疎い私は、この日はリアルマドリッド戦があることをF本さんから聞いて初めて知る。歩行者に注意しながらスタジアムの横を過ぎ、支流の鳥山川を渡って再びサイクリングロードに。この辺りは犬の散歩をしている人が多く、ちょっと気を使う。東横線、新幹線、国道1号、JR在来線、京急線を通過し、国道15号線との交差点でサイクリングロードを離れた。

潮鶴橋、鶴見線操車場を経由し、工場地帯を海岸に向かって走る。理研、横市の大学院、東芝の工場等を経て、ふれーゆ横の河口に出た。時間は16時ちょっと前で日没30分前。残念なことに、河口付近の川岸は鉄の塀で覆われており川がよく見えない。川は見えないものの、海(運河?)を隔てて大きな橋がよく見える。正面の鶴見つばさ橋、右手に大黒大橋、さらにその奥にベイブリッジ。夕日に照らされてなかなかの眺めとなっていた。この絶妙のタイミングはF本さんのスケジューリング通りか。



潮鶴橋まで来た道に戻り、鶴見駅に出てF本さん御用達の居酒屋で反省会。